鳥の巣
開・閉会式、陸上競技、サッカー決勝などを行うメインスタジアム、北京国家体育場。独特の外観から「鳥の巣（Bird's Nest）」の愛称で親しまれている。収容人数は９万1000人

開幕まで48日

北京五輪で観光業発展

各地で受け入れ準備整う

北京・天津・青島 直前リポート

取材協力：中国国家観光局

８月８日から24日までの17日間、第29回夏季オリンピック（＝北京五輪）が中国・北京市を中心に開かれる。アジアでの夏季五輪開催は１９８８年のソウル五輪以来、実に20年ぶりだ。開幕まであと７週間。世界中から集まるアスリートたち、観戦客、メディアの受け入れ準備が現地で着々と進んでいる。北京五輪では北京のほかに、セーリング競技を行う青島、サッカーの予選会場となる天津・上海・瀋陽・秦皇島、馬術競技がある香港が「共同開催都市」となっている。北京、上海、青島、天津の競技施設や関係者などを取材した。

【記事・写真＝江口英一】

日本の四国とほぼ同じ面積に２千万人が暮らす中国の首都、北京市で08年８月８日午後８時８分、北京五輪が開幕する。

北京市旅遊局の李雪敏・旅遊促進所副所長によると、五輪開催中に北京市を訪れる観光客は約50万人の見通し。17日間の会期中だけで、昨年８月実績の42万人を19％上回る予測だ。

ホテルレートと予約状況はどうだろうか。

ドイツ地域オリンピック委員会（ＮＯＣ）のオフィシャルホテルであるケンピンスキーホテル北京ルフトハンザセンター（北京市内、５２６室）の場合、「会期中の室料は通常のラックレート２６００元（約４万円）の３倍に設定している。２５０室をＮＯＣに、残りを一般向けに販売している。５月29日現在での予約率は全体で85％くらい」（セールスディレクターのマルコ・サンデル氏）という。

「ＮＯＣ枠の２５０室のうち１８５室は選手団の家族などが宿泊し、残りは関係者が使う。また、ドイツ人メダリストのインタビューを当ホテル内で行い、ドイツの公共放送局のＡＲＤやＺＤＦなどが本国に放送する」（サンデル氏）。一般旅行客向けの客室については「ドイツの旅行会社Ｄｅｒ Ｔｏｕｒを通じて販売している」と話した。

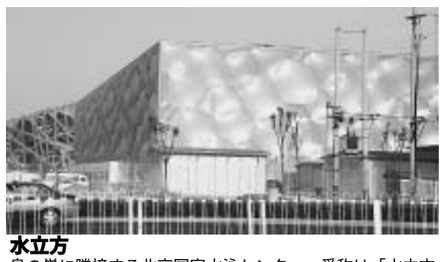
北京市郊外、万里の長城のそばにあるヴィラ形式のホテル、コミューン・バイ・ザ・グレートウォール・ケンピンスキー（北京市八達嶺、２０１室）の予約状況は５月29日現在で70％弱。「開閉会式の日以外はまだ余裕がある。年間平均稼動率は78％なので、今後徐々に埋まってくると思う」（ゼネラルマネージャーのイヴ・エンカー氏）。客室販売価格は「通常の２～４倍に設定している」（同氏）。

北京の観光客は会期中50万人

ホテルレートは通常の２～４倍

過去の五輪開催地では会期中に市内ホテルの客室料金が通常の５～10倍に高騰することも珍しくなかった。北京五輪では、ホテルレートは比較的落ち着いている。

前出の北京市旅遊局・李副所長は、五輪期間中の市内ホテルの予約率について「オフィシャル・ホテルがほぼ満室だが、一般ホテルは５つ星クラスで77％、４つ星クラスで44％程度」と話した。（※予約率は取材時点のものです。コミューン・ケンピンスキーは現在満室です）



水立方
鳥の巣に隣接する北京国家水泳センター。愛称は「水立方（Water Cube）」。競泳、シンクロナイズドスイミング、飛び込み、水球の競技場。収容人数は１万7000人

中国農業大学体育館
レスリング会場は大学構内に建設した。地上3階、地下１階建て。8500人を収容する。他にも６つの大学で競技を行う

五棵松体育館
バスケットボール会場。金色をした縦長のアルミ合金材で外壁を覆った。地下３階、地上４階建ての直方体の建物で１万８千人を収容する。場内中央には中国初導入となるＬＥＤアストロビジョンディスプレーが設置され、カメラがとらえた映像をリアルタイムで映し出す

五棵松野球場
バスケットボール会場に隣接する１万２千人収容の野球場。観戦席は仮設の簡単なもの。野球は今大会を最後に五輪の正式競技から姿を消す

▶同一個世界　同一個人夢想
世界各国の観光客が連日訪れる万里の長城（八達嶺）にも北京五輪のシンボルロゴとスローガン「同一個世界　同一個人夢想（＝One World One Dream）」の大看板を設置した

オリンピック選手村
オリンピック公園にある選手村。総面積55万６千平方㍍の敷地に、選手用アパート42棟（６階建てが22棟、９階建が20棟）と、レストラン、室内トレーニングセンターなどのサービス施設12棟が建ち並ぶ

オリンピック公園（模型）
北京五輪の競技会場は全部で37カ所。うち31会場が北京市内ある。22会場は新設だ。市北部のオリンピック公園には鳥の巣、水立法など10施設が集まる

北京首都国際空港第３ターミナル
２月29日に供用開始した北京首都国際空港の第３ターミナルは、単体の空港ターミナルビルでは世界最大。総建築面積は98.6万平方㍍、総工費は約38億米ドル（約4100億円）。日本航空、全日空、中国国際航空などが発着する

ヨット会場――海浜リゾート都市・青島

日本人女性客にアピール

セーリング（ヨット）競技会場になる山東省青島市は風光明媚な海浜リゾート都市。１９０３年にドイツ人と英国人が創業した「青島ビール」の本拠地であり、84年に冷蔵庫メーカーとしてこの地で創業し、今や中国最大の家電メーカーとなった「海爾（ハイアール）」の本社も青島市にある。

青島市旅遊局の孟祥毅・副局長によると、昨年１年間に青島を訪れた日本人観光客は23万人。外国人観光客１００万人のうち半分以上は韓国人で、２番目に多いのが日本人だ。一方、中国国内からは年間３千万人の観光客が訪れている。

主にドイツ人が残した約２００棟の欧風建築物が青島の貴重な観光資源になっている。「北京五輪を契機に、日本の若い女性をターゲットに、洗練されたイメージの観光地として青島をＰＲしていきたい」。孟副局長はこう明かした。五輪期間中は、国内から４００万人、海外から30万人の観光客が訪れると予測している。

北京五輪大会マスコット「貝貝（ベイベイ）」
マスコットたちの名前は、福をもたらす子供と言う意味の「福娃（フーワー）」で、魚、パンダ、聖火、チベットカモシカ、ツバメをそれぞれモチーフにした５種類。セーリング競技が行われる青島では、青色の貝貝をメインに据えてＰＲ

青島空港
聖火トーチにあしらった「Ｃｌｏｕｄ ｏｆ Ｐｒｏｍｉｓｅ（誓いの雲）」のデザインを空港の外柱に塗装。湾曲した真紅の鉄柱群に白い渦巻き模様が映える

中国青島銀海国際ヨットクラブ
青島国際帆船センターそばのヨットクラブ。シンガポール、米、英、豪、伊の選手たちが長期滞在してトレーニングに入っている

▼青島国際帆船センター
収容人数9000人のセーリング（ヨット）競技場。敷地内に建設中の選手村は大会終了後、５つ星ホテルになる予定

五輪の次は上海万博

2010年　入場者7000万人目指す

北京五輪でサッカー予選が行われる上海市では、次の国際的イベント「上海万博」の準備が進んでいる。

２０１０年の５月１日から10月31日までの１８４日間で総入場者数７千万人をめざす。５月26日現在で２０５の国と国際機関が参加表明をしている。

上海万国博覧会事務局の李璐副主管によれば、目標入場者数の５％にあたる３５０万人を日本など海外から集客する計画。入場券代は、個人向け１日券で１６０元程度（約２５００円）になる模様だ。北京五輪終了直後の９月９日から団体向けに入場券販売を開始。来年５月１日からは個人向け入場券の販売も始める。

入場券の予約販売方法については「北京五輪のシステムを参考に構築中」（同氏）という。

09年末までには、北京・上海間（約１３２０㌔）を従来の所要時間の半分の５時間で結ぶ中国高速鉄道が開通する予定だ。

2010年上海万博会場（模型）
上海市中心部を流れる黄浦江という川の両岸の5.28平方㌔を再開発して、万博公園を建設中。世界各国と各企業のパビリオンを配置し、半年間の会期中に7000万人の観光客を誘致する計画

上海万博マスコット「海宝（ハイバオ）」
上海万博のテーマ「より良い都市、より良い生活」の中心が「人」であることから、漢字の人をモチーフにデザインされた

サッカー日本代表の決戦地－天津

高速道路・鉄道網が充実

天津市ではサッカー予選で、日本代表チームが８月７日に米国と、８月10日にナイジェリアと対戦する。

会場となる天津オリンピックセンタースタジアムの愛称は「水滴」。４つの人造湖に囲まれた、南北３８０㍍、東西２７０㍍、高さ53㍍、収容人数６万人の施設だ。

北京・天津間は１３７㌔。うち１０７㌔は高速道路で結ばれ、車での移動時間は２時間30分程度だ。五輪開催までには高速道路がもう１本開通する。

同区間を30分で結ぶ中国高速鉄道も５月30日に試験運転を開始。五輪開幕までに開業する。東北新幹線「はやて」の技術による車両と、シーメンスのドイツ高速列車（ＩＣＥ）の技術を使った車両を併用している。

天津市旅遊局の楊宝泰・市場促進所長によると、昨年１年間に天津市を訪れた外国人観光客は１１３万人。そのうち日本人は28万人だった。日本人観光客数はここ数年、毎年５％程度ずつ伸びており、楊所長は「今年は30万人を超える見込み」と期待を寄せている。外国人観光客数の１位は日本人で２位は韓国人という。

天津市にトヨタ、ヤマハ、デンソー、大塚製薬などの日本企業が数多く進出していることも日本人観光客増につながっているようだ。

水滴
４つの人造湖に囲まれた天津オリンピックセンタースタジアムの愛称は「水滴」。収容人数は６万人。サッカー予選会場の１つ

水滴内のグラウンド
サッカー日本代表が８月７日に米国と、10日にナイジェリアとここで対戦する。男子サッカー予選12試合を行う

四川地震の犠牲者追悼

五輪の「一校一国」で日本を応援する　花家地小学校

北京五輪の「一校一国運動」で日本を応援する花家地実験小学校（北京市、生徒数１１００人）で５月30日、四川大地震の犠牲者を追悼する式典と支援金を集めるバザーが行われた。

バザーでは６万元（約95万円）が集まった。五輪マスコットの「福娃（フーワー）」人形を５千セット購入して被災地の子供たちに贈るほか、北京市の支援交流都市に指定された四川省什邡（じゅうほう）市の学校再建用の義援金として寄付される。

昨年12月29日には、福田康夫首相と貴代子夫人が同校を訪問し、児童たちと交流した。

一校一国運動は冬季長野五輪から始まったもの。校内選挙で選ばれた「子供オリンピック委員会」の児童たちが中心となって日本代表チームを応援してくれる。

花家地実験小学校では、四川大地震の犠牲者を追悼する式典と支援バザーが行われた